

## たてものを手で、耳で、心でみる

どこの美術館に行っても、知られていそうで知られていない美術館の建物。

今年は、3回のプログラムを通して、昨年度開発した「たてもの鑑賞サポートツール」を活用しながら、国立国際美術館の建物を視覚以外のいろいろな感覚も大いに使いながら楽しめます。

2024年  
① 9月21日(土)

**手**でみる

「たてもの鑑賞サポートツール」でたてもの  
たのしもう

2024年  
② 11月30日(土)

**耳**でみる

たてものなかの  
音をさがそう

2025年  
③ 3月22日(土)

**心**でみる

たてもので感じたことを  
かたちにしてみよう

### ①手でみる

「たてものの鑑賞サポートツール」でたてものをたのしもう

2024年9月21日(土) 13時半～15時半 ※終了時間は前後します。

昨年度開発した「たてものの鑑賞サポートツール」を使って、地下1階部分を中心に、国立国際美術館の建物を楽しみます。ジョアン・ミロ《無垢の笑い》(1969年)も、さわって楽しむことのできるツールで鑑賞します。

### ②耳でみる

たてもののなかの音をさがそう

2024年11月30日(土) 13時半～17時 ※終了時間は前後します。

建物の中で聞こえる音にフォーカスしながら、国立国際美術館の建物を探検します。いろいろな場所で採集してきた音を聴き比べて、参加者それぞれの建物体験を共有します。

### ③心でみる

たてもので感じたことをかたちにしてみよう

2025年3月22日(土) 13時半～17時 ※終了時間は前後します。

特別講師：亀井岳(映画監督)

建物に関するレクチャー、建物ツアー、「たてものの鑑賞サポートツール」を使った鑑賞を通して感じたことを粘土で表現してみます。

対象 どなたでも

※みえない人、みえにくい人、ケアを要する人などなたでも歓迎します。

講師 宮元三恵(アーティスト)

技術協力 御幸朋寿(東京工科大学専任講師)

定員 各回10名(事前申込・応募者多数の場合は抽選)

申込 9月21日 開催「手でみる」→ 9月11日(水)

締め切り 11月30日 開催「耳でみる」→ 11月20日(水)

3月22日 開催「心でみる」→ 3月12日(水)

※いずれも13時必着、定員に達しない場合は引き続き募集します。メールでお問い合わせください。

参加費 無料(11/30と3/22は要コレクション展観覧料)

場所 国立国際美術館

### 申込方法

メールで以下の情報をお知らせください。

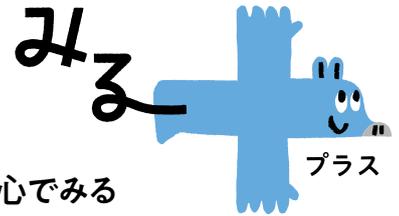
件名には、プログラム名をご記入ください。

- 1) 参加希望日
- 2) 氏名(ふりがな)
- 3) 学年あるいは年齢
- 4) 連絡用メールアドレス
- 5) 電話番号(直前あるいは当日に連絡が可能な番号)
- 6) 障害の有無・種別
- 7) 介助者の有無
- 8) お住まいの都道府県
- 9) 参加理由(簡単に)
- 10) どなたでも参加できるようなプログラムへの参加経験
- 11) 必要な支援・配慮・事前に共有しておきたいこと  
(美術館の最寄り駅からの送迎が必要な方、情報保障が必要な方はお知らせください)
- 12) 今回の情報の入手方法  
(当館HP、ちらし、インターネットのサイト名、SNSの種類、メーリングリストなど)

※メールでのお申し込みが難しい場合は、それぞれの締め切り日までの平日10時～17時の間に、06-6447-4680までご連絡ください。

申込メールアドレス

education@nmao.go.jp



### ご注意・お知らせ

- 電子メール1通につき申込者複数名で申し込まれる際には、すべての方の情報(申込方法に記載されている2～12)をご記入ください。
- 「@nmao.go.jp」からのメールを受信できるように設定してください。当館からの参加可否のメールが受信拒否あるいは迷惑メールフォルダー等に振り分けられないようご注意ください。
- 参加申し込みされた全員の方に、締め切り後数日中に参加の可否をお知らせします。
- 主催者がプログラムを記録撮影します。記録した動画、静止画は、当館および講師の活動普及目的のため使用する可能性があります。使用に同意できない方は、別途ご相談ください。

### お問い合わせ

国立国際美術館 教育普及室

メール：education@nmao.go.jp

電話：06-6447-4680(代) 平日10時～17時

ファックス：06-6447-4698

### 講師略歴

宮元三恵(みやもとみえ)

福岡県生まれ。1996年、アーキテクチュラル・アソシエーション・スクール(ロンドン)修了。2006年、東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程修了。子どもの身体感覚に基づくワークショップや動物の巣をモチーフにした空間制作など、空間の知覚や体験をテーマとする活動を国内外で展開している。東京工科大学デザイン学部・大学院デザイン研究科教授。

### 交通アクセス

- 京阪電中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分
- Osaka Metro四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分
- JR「大阪駅」、阪急電車「大阪梅田駅」から南西へ徒歩約20分
- JR大阪環状線「福島駅」から南へ徒歩約15分、JR東西線「新福島駅」(2番出口)、阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分
- Osaka Metro御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口)から西へ徒歩約15分
- 大阪シティバス「JR大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田養橋」下車、南西へ徒歩約3分



**国立国際美術館**  
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA  
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55